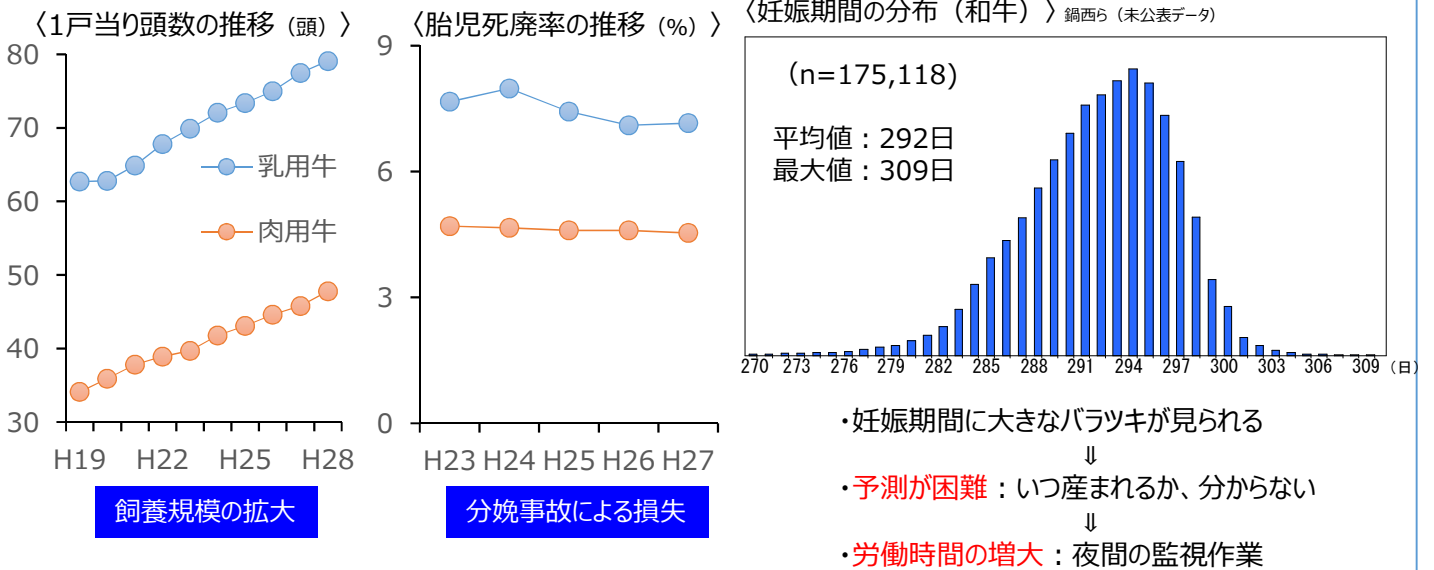


# 個体識別ビーコンを用いた動線分析による分娩予測・健康管理システムの開発

## 【現状と課題】



## 【既往の技術】

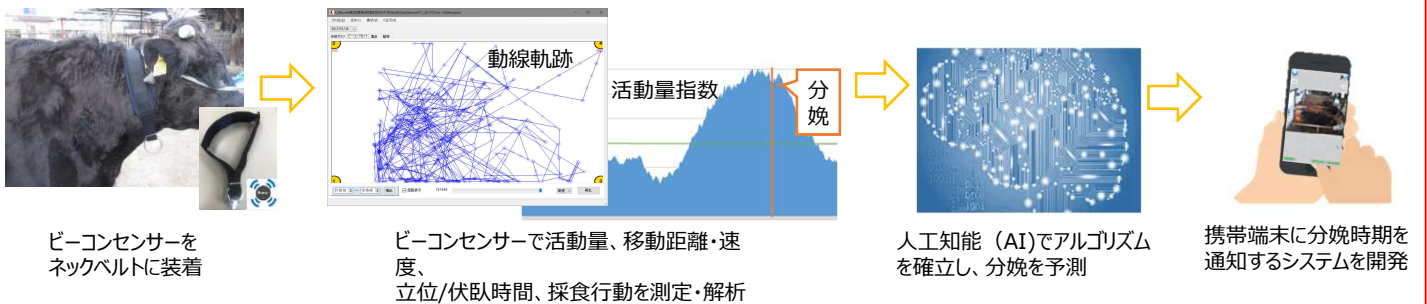
種々のセンサーを牛体内・外に装着し、得られた生体情報から分娩兆候を捉え、分娩時期を特定する技術が普及

【求められている技術】: 大規模経営にも対応できる**非侵襲的アプローチによる技術革新が必要**

そこで

## ストレスフリー技術による飼養管理技術革新コンソーシアム

【個体識別ビーコンを用いた動線分析による分娩予測・健康管理システムの開発】



<b>実証農場</b> (株) NAMIKIデリーファーム (有) 有村ファーマーズ	<b>ビーコンセンサー技術</b> ライフラボラトリ (株)	<b>実証研究機関</b> 北里大学、鹿児島大学、青森県畜産研究所 (有) 小比類巻家畜診療サービス	<b>人工知能技術</b> 東京理科大学	<b>普及機関</b> 青森県地域県民局
--	-----------------------------------	--	-------------------------	-------------------------

ICTの畜産分野への応用を実証・普及

- ・牛にストレスを与えないセンサを活用した分娩時期の特定システム
  - ・IoT、AI技術を活用して、事前に飼養者に対し通知ができる
- 従来にない**非侵襲的**分娩監視システムの開発

➡ **子畜の安定的な生産 / 飼養者の労働負荷軽減 に寄与**